

ご説明資料

会社概要

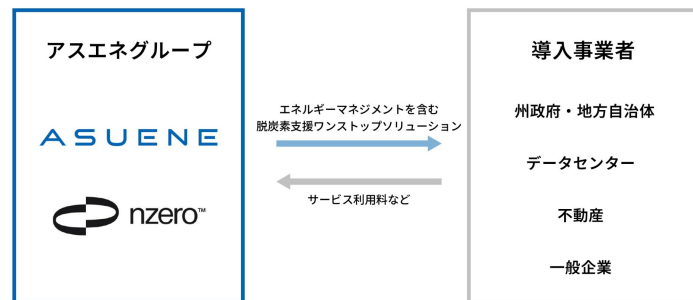
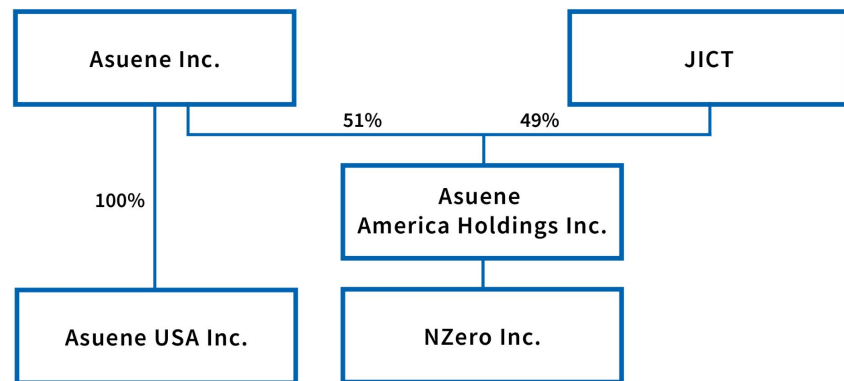
社名	アスエネ株式会社
設立	2019年10月
代表者	西和田 浩平
株主	経営陣、Incubate Fund、環境エネルギー投資、STRIVE、パビリオンキャピタル SBI Investment、SMBC、Salesforce Ventures、SPARX GMO VenturePartners、Sony Innovation Fund、大和ハウスGF、ダイキン工業 Glin Impact Capital、RICOH、村田製作所、Nippon Express CVC、KDDI GPF 日本生命、JERA、JICN、米国Metaprop、Axiom Asia、global brain、日揮 Sony Financial Ventures他
資金調達額	115億円（投資+融資）
事業	1) CO2見える化クラウドサービス「ASUENE」 2) ESG評価クラウドサービス「ASUENE SUPPLY CHAIN」 3) カーボンクレジット・排出権取引所「Carbon EX」 4) GX・ESG人材特化型の転職プラットフォーム「ASUENE CAREER」 5) 非財務データの第三者保証事業を提供する「ASUENE VERITAS」
グループ企業	ASUENE APAC、ASUENE USA、ASUENE Thailand、ASUENE Europe ASUENE VERITAS、Anyflow、Carbon EX（SBI Holdings JV） NZero、Iconic Air
認定/加盟	経団連、JCLP正会員、JEITA、日本自動車部品工業会、WBCSD他
本社	東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門一丁目ビル WeWork 4階



JICT様のご支援概要

2025年8月にJICT様と、ASUENE America Holdings Inc.を通じたNZero社への共同出資を行うことを決定

<共同出資のスキーム図>



<Nzero概要>

- GHG排出量の可視化およびAIによるエネルギーマネジメントに強みを持つ米国のクライメートテック企業
- 複数の米国州政府を顧客に持ち、公共セクターにも広く導入されている北米有数のクライメートテック企業

<JICT様ご支援>

- Asueneにの初の海外M&Aで共同投資を実施
- 共同でExecution・DDを実施
- グローバル展開へ金融機関等からの信頼性の向上

<本件の狙い>

- アスエネとJICT様が連携し、脱炭素・クライメートテック分野におけるスタートアップによる欧米・アジア各国への展開を官民で共に支援していく第一歩
- 官民ファンドであるJICT様との共同出資を通じて、グローバルに挑戦するうえで重要な戦略資金と公的な信頼基盤を獲得
- ICT領域に関わる幅広い知見及び産官学のネットワークの活用によるNZero社への支援

JICT様の特徴・今後の期待

- **民間金融(PE、VC、銀行等)にはない特徴**
 - 海外の買収に共同投資者として Equityで参画
 - 数パーセントではなく49%のSignificant minorityとしての出資
 - 公的な信頼基盤の獲得
 - 中長期の投資戦略・意義への理解・支援
 - メンバーの経験・Background
- **今後更に期待すること**
 - ネットワークの活用: 州政府・地方自治体、データセンター等
 - 継続的な投資案件の支援
 - 他国展開の支援

ASUENE